

平成 24 年 11 月 5 日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

NH-2 号ファンドを組成 ～全国地銀と連携 150 億円規模を目指す～

投資ファンド運営のニューホライズン キャピタル株式会社（本社 東京都港区西新橋、取締役会長兼社長 安東 泰志、以下「NHC」）は 5 日、弊社にとって 2 本目となる総額 150 億円規模の成長支援ファンド「ニューホライズン 2 号投資事業有限責任組合（NH-2）」を組成すると発表しました。本日、一次募集（ファーストクローズ）が 53 億円で発効し、来年 1-3 月期を目処に、セカンドクローズを行ないます。なお、本ファンドは、現時点で中小企業基盤整備機構から 20 億円の出資を戴いており、セカンドクローズ終了までに民間投資家からの出資の進捗に応じて最大 40 億円までの出資を得る予定です。今後は、金融円滑化法の出口戦略を見据え、地方銀行とも連携しながら中堅・中小企業の成長・事業承継、並びに再生・再編に取り組んで参ります。

2013 年 3 月に期限切れを迎える金融円滑化法の出口戦略が官民で模索されていますが、中堅・中小企業の経営環境は、内外の情勢を映して極めて厳しいと言わざるをえません。抜本的な解決策としての中長期的視野に立った産業再編、事業再生を図る改革案を早急に策定するとともに、民間のリスクマネーを活用して推進していくことこそ官民挙げての喫緊の課題です。

弊社は、産業再編、事業再生のプロとして存在する成長支援ファンドの活用を大いに図るべきであると考えています。

NHC は、前身であるフェニックス・キャピタル時代から継続 11 年の実績（独立系ファンドとしては最大規模の運用資産：総額 2300 億円超）を背景に、NHC として 2 本目、創業から 8 本目のファンドを運営することになります。弊社チームは、三菱自動車をはじめ、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、さくらや、ツムラなど、エクイティー投資先だけで 26 社、債権の買取を含めると 70 社以上と、日本随一の企業再生・再編投資実績を有しております。直近では、日立化成グループで慢性的な赤字経営会社であったハウステックを 08 年に買収、リーマンショックや改正住宅基準法の逆風の中、1 年間で黒字化後、成長企業として蘇らせ、ことし 5 月にヤマダ電機に売却、同社のスマートハウス構想の中で更なる成長路線に乗せることができました。

なお、セカンドクローズでは、中小企業基盤整備機構のほか、年金、メガバンク、地方銀行、生命保険、海外年金、ファンドオブファンズなどからの投資を見込んでおります。

NHC の会長兼社長の安東泰志は「弊社のような実績のある独立系ファンドが銀行と協調して中堅・中小企業の再生を行なっていくことこそ、真の再生支援のあり方であり、強い

使命感を持って今後も日本経済の再生に寄与していきたい」と抱負を述べています。

この件に関する問い合わせ先：

広報担当（IFC）竹江、連絡先：03-5532-8921